書　　名	松原の教育　平成 10 年度版
書名かな	まつばらのきょういく　へいせい 10 ねんどばん
編著者名	管理部総務課（編）、社会教育部社会教育課社会教育係
編集機関	松原市教育委員会
発行機関	松原市教育委員会
発行年月日	1999 年 3 月
郵便番号	580-8501
電話番号	072-334-1550
住　　所	大阪府松原市阿保 1-1-1
備　　考	文化財に関する頁及び奥付のみを電子化。

PDF ファイル制作日：2021 年 10 月 8 日

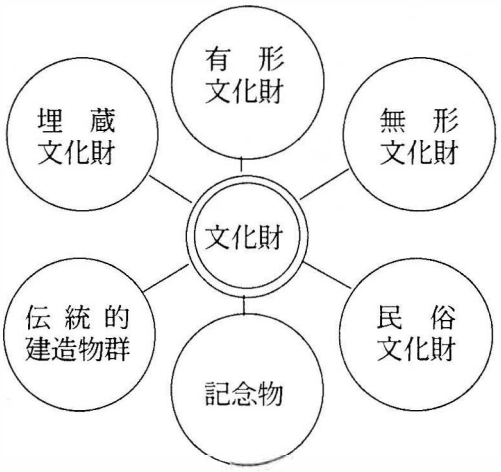
PDF ファイル制作者：松原市教育委員会事務局 教育総務部 文化財課

4. 文 化 財 保 護

（1）文化財保護の目的

文化財は過去を正しく理解し、現在を見つめて、未来を創造する手掛かりであり、また充足と豊かさをともなった真に文化的な生活を営む糧である。

この本市の発展にとってかけがえのない文化財を保護・保存し、永く後世に伝えると伴に、市民生活の向上を図ることを目的とする。



（2）埋蔵文化財

開発行為等によって破壊に直面している埋蔵文化財の保護を重点施策として取り組んでいる。

① 開発事業の調整、指導

「文化財保護法」に基づく土木工事等の届出、「開発指導要綱」に基づく試掘依頼等によって、埋蔵文化財の存在状況の把握と新たな遺跡の発見に努め、その保存方法、発掘調査等の事前協議を行う。

・ 遺跡範囲確認受付件数

種別＼年度	平4	5	6	7	8	9
建築確認	419	492	508	569	667	594
開発協議その他	640	886	1,027	739	805	665
計	1,059	1,378	1,535	1,308	1,472	1,259

・ 発掘届出・通知（遺跡範囲内）

指導別＼年度	平4	5	6	7	8	9
慎重工事	406	417	519	655	184	332
立会調査	139	171	165	150	234	194
発掘調査	36	19	16	19	22	27
計	581	607	700	824	440	553

・ 試掘調査依頼（遺跡範囲外）件数

年　　度	平4	平5	平6	平7	平8	平9
件　　数	63	67	147	131	101	51

② 調査件数

内容＼年度		平4	平5	平6	平7	平8	平9
立会調査		143	173	165	112	131	109
試掘調査		61	52	57	45	36	10
発掘調査	予備調査	57	47	36	40	47	40
	本調査	17	19	15	8	8	3
計		278	291	273	205	222	162

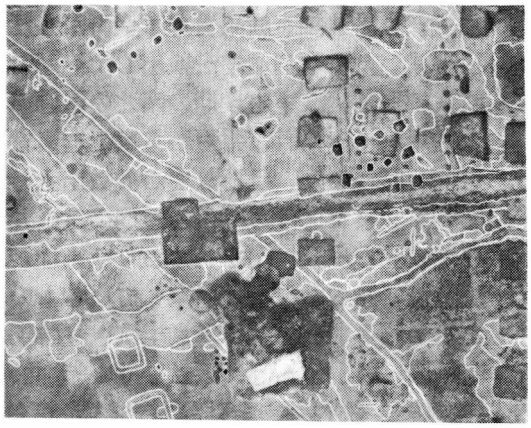
（３）発掘調査概要

① 上田町遺跡（阿保１丁目１６－２）

消防本部建設工事に伴い発掘調査を実施した。弥生時代後期と鎌倉～室町時代の水田跡を検出し、多数の弥生土器や須恵器、土師器が出土した。弥生時代後期の水田跡は、幅20cm程の小畦畔によって小さく区画されており、水を水田内へ導く水口や鋤鍬で耕した痕跡も認められた。このような水田跡は、市庁舎建設工事に伴い行った発掘調査でも検出されており、当時、この周辺に広く水田が形成されていたことが窺える。

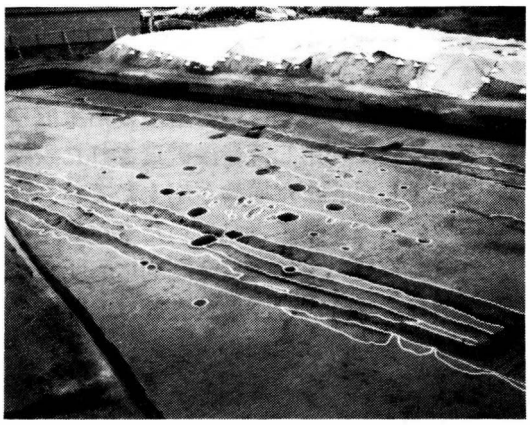
② 南新町遺跡（南新町３丁目地内）

新町南公園施設整備工事に伴い発掘調査を実施した。古墳時代後期～飛鳥時代の掘立柱建物跡・溝跡・水田跡、奈良時代の大溝跡を検出した。掘立柱建物跡は、２間×５間のものと２間×３間のものと２棟確認したが、周辺の踏査においても掘立柱建物を数棟確認しており、大規模な建物群の存在を窺わせる。出土遺物では、須恵器、土師器等のほかに金銅製耳環や水晶原石なども出土しており、一般の集落とは異なった性格を持つ建物群である可能性が考えられる。



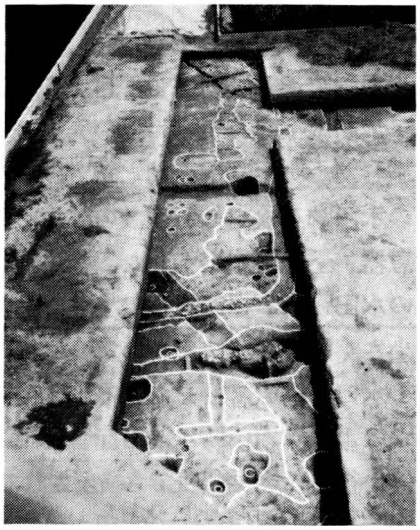
③ 東新町遺跡（東新町３丁目２３６－７、２３７－１の各一部）

共同住宅建設工事に伴い発掘調査を実施した。弥生時代後期と古墳時代前期の土杭、古墳時代後期の溝跡、平安時代末期の掘立柱建物跡を検出し、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、平瓦などが出土した。平安時代末期の掘立柱建物跡は、主屋とそれを取り囲む塀とが同時に確認でき、塀柱の配置等から入口位置も推定することができるもので、当時の建築物様式を知る上で貴重な資料である。



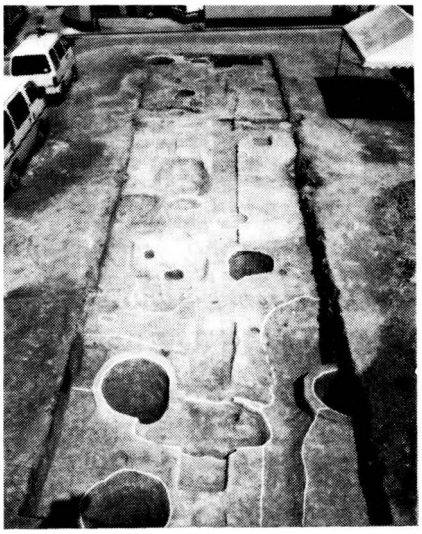
④高木遺跡（北新町４丁目１４８－４外）

分譲住宅建設工事に伴い発掘調査を実施した。平安時代後期の規模が大きく、かつ企画性をもつ豪族の館、あるいは官衛（役所）跡の可能性のある掘立柱建物を検出した。建物以外にも土師器の甕・椀、須恵器の坏・壷・甕、黒色土器、緑釉土器が出土した井戸・溝が検出された。また鎌倉時代の掘立柱建物とその周囲を巡る２重の溝、建物に付随すると思われる井戸、土杭なども検出された。溝からは多量の瓦器椀・皿、土師器甕・羽釜が、井戸からは完全な形の瓦器椀などの他に瓦、土師器の甕などが出土している。



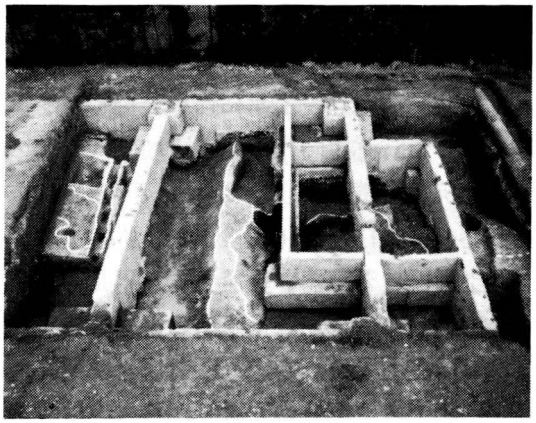
⑤阿保遺跡（阿保６丁目９８１－１）

分譲住宅建設工事に伴い発掘調査を実施した。旧阿保村の成り立ちを考えるうえで、貴重な調査成果となる室町から江戸時代いたる道構遺物を検出した。室町時代の遺構は、室町後期の南北の区画溝と井戸が検出され、井戸からは土器、青磁椀、曲物、瓦、砥石などが多数出土している。また、江戸時代の遺構には、井戸が６基と多数検出されており、当地が藍染屋であったことに由来しているものと思われる。その他、溝、土杭、柱跡、陶磁器、瓦、木製品（下駄、閂、箸、曲物、錐）、鉄製品、石製品など、数多くの遺構遺物が出土した。



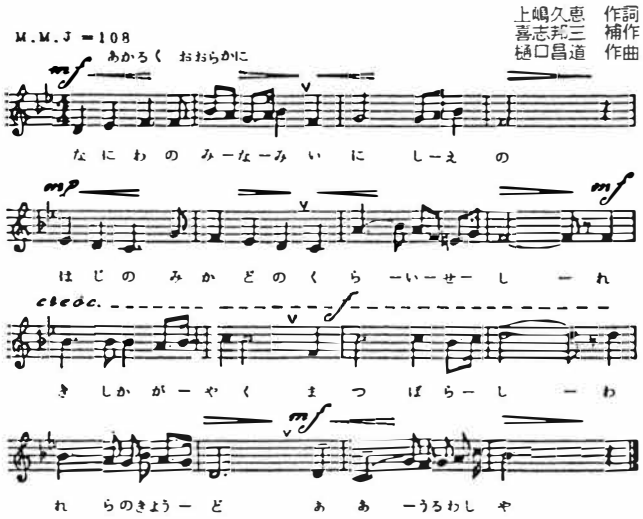
⑥丹南遺跡（丹南３丁目２２２－２外）

倉庫建設工事に伴い発掘調査を実施した1623年丹南郡に高木正次が初代丹南藩主として就封された丹南藩陣屋遺構（堀跡・柵跡）と西に隣接する来迎寺中興期に関連する14世紀代の鋳造用の粘土取り穴とこれを利用し鋳造後破棄された鉄滓が出土した。また埴輪が出土しており周辺地に古墳が築造されていた事が考えられる。陣屋については全国的にも明らかな例は少なく、今回の調査では、陣屋に付随する堀跡、柵列跡などが検出され、陣屋の実態解明の端緒となる貴重な成果を得ることができた。



○市歌

（昭和30年9月27日
設　　定）



一、浪花の南　いにしえの
反正のみかどの　位せし
歴史かがやく　松原市
われらの郷土　ああ美わしや

二、産業日々に　すすみゆき
仰ぐ金剛　信貴　生駒
黎明つぐる　松原市
われらの郷土　ああ光あれ

三、平和の松の　旗じるし
高き文化の　色そめて
朝日に映ゆる　松原市
われらの郷土　ああ栄あれ

松原の教育
（平成10年度版）

発行日　平成11年3月
発行所　松原市教育委員会
編　集　管理部総務課
☎（0723）34－1550㈹
FAX（0723）32－7720
印　刷　松原印刷
☎（0723）32－5489㈹
FAX（0723）32－5480